

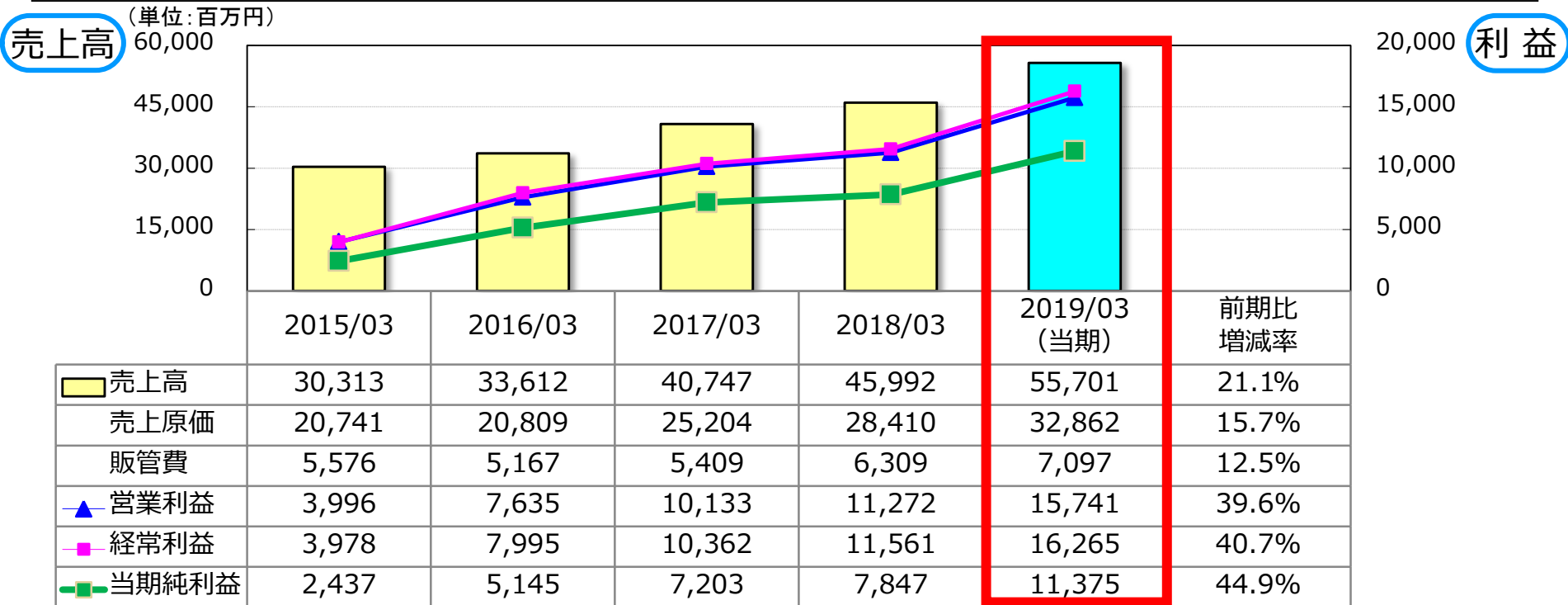
東映アニメーション株式会社

2019年3月期(2018/4~2019/3)



2019年3月期決算(連結)

- 大幅な増収増益で売上高、利益とも過去最高額を記録
- 国内外でアプリゲームを中心としたゲーム化権販売が好調
- 中国向け大口映像配信権の販売本数の増加に加え、北米向け配信権の販売も好調



2019年3月期 セグメント別内訳(連結)

(百万円)		2018年3月期	2019年3月期	増減率
映像製作・販売事業	売上高	16,223	19,531	20.4%
	セグメント利益	2,423	4,147	71.2%
著作権事業	売上高	24,124	30,210	25.2%
	セグメント利益	11,439	14,360	25.5%
商品販売事業	売上高	4,766	5,166	8.4%
	セグメント利益	123	129	4.8%
その他事業	売上高	1,068	970	△9.1%
	セグメント利益	△59	△42	-
連結	売上高	45,992	55,701	21.1%
	営業利益	11,272	15,741	39.6%

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

2019年3月期 セグメント別分析①(映像製作・販売)

(百万円)	18/03 実績	19/03 実績
売上全体	45,992	55,701
映像製作・販売事業	16,223	19,531
劇場アニメ	1,169	1,758
テレビアニメ	3,194	2,888
コンテンツ	791	660
海外映像	8,747	10,934
その他	2,319	3,289
著作権事業	24,124	30,210
国内著作権	13,451	16,547
海外著作権	10,672	13,662
商品販売事業	4,766	5,166
その他事業	1,068	970

映像製作・販売事業 (↑ 前期比20.4%増)

- 「劇場アニメ」は、「ドラゴンボール超 ブロリー」や「プリキュア」シリーズのヒットがあったことから、大幅な増収
- 「テレビアニメ」は、放映本数が減少したことから、減収
- 「コンテンツ」は、前年同期にあった「美少女戦士セーラームーンCrystal」のブルーレイ・DVDの売上に相当するものがなかったことから、大幅な減収
- 「海外映像」は、中国向け大口映像配信権の販売本数が増加したことに加え、北米向け映像配信権の販売が好調に稼動したことから、大幅な増収
- 「その他」は、国内での映像配信権の販売が好調に稼動したことに加え、「聖闘士星矢: Knights of the Zodiac」の製作代収入があったこと等から、大幅な増収

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

2019年3月期 セグメント別分析②(著作権・商品・その他)

(百万円)	18/03 実績	19/03 実績
売上全体	45,992	55,701
映像製作・販売事業	16,223	19,531
劇場アニメ	1,169	1,758
テレビアニメ	3,194	2,888
コンテンツ	791	660
海外映像	8,747	10,934
その他	2,319	3,289
著作権事業	24,124	30,210
国内著作権	13,451	16,547
海外著作権	10,672	13,662
商品販売事業	4,766	5,166
その他事業	1,068	970

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

著作権事業 (↑ 前期比25.2%増)

- ・「国内著作権」は、アプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』や、『ドラゴンボール レジェンズ』の好調に加え、複数作品で遊技機の大口契約があったことから、大幅な増収
- ・「海外著作権」は、アプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』や、『ドラゴンボール ファイターズ』を中心とした家庭用ゲーム、「ドラゴンボール」シリーズの商品化権が欧米で好調に稼動したことに加え、アプリゲーム『ドラゴンボール レジェンズ』の配信が開始されたことから、大幅な増収

商品販売事業 (↘ 前期比8.4%増)

- ・「ドラゴンボール超 ブロリー」の劇場公開に合わせたタイアップ・キャンペーン関連商品の販売が好調だったことから、増収

その他事業 (↘ 前期比9.1%減)

- ・前年同期にあった「ドラゴンボール超」の催事関連に相当するものがなかったことから、減収

2019年3月期 決算総括

(百万円)	18/03 実績	19/03 実績	増減	増減率
売上高	45,992	55,701	9,709	21.1%
売上原価	28,410	32,862	4,451	15.7%
売上総利益	17,581	22,838	5,257	29.9%
販管費	6,309	7,097	788	12.5%
営業利益	11,272	15,741	4,469	39.6%
営業外収益	430	552	121	28.3%
営業外費用	140	28	△112	△80.0%
経常利益	11,561	16,265	4,703	40.7%
特別損益	△123	△168	△44	-
税引前当期純利益	11,438	16,097	4,659	40.7%
法人税等	3,646	4,854	1,207	33.1%
法人税等調整額	△56	△132	△76	-
少数株主利益	-	-	-	-
当期純利益	7,847	11,375	3,527	44.9%

売上高

- 増収幅が大きい事業
 - ①国内版權[3,096] ⇒②海外版權[2,989] ⇒③海外映像[2,186]
- 減収幅が大きい事業
 - ①テレビ[△306] ⇒②コンテンツ[△131] ⇒③イベント[△97]

原価・売上総利益

- 売上総利益率:41.0% (前期:38.2%)
収益性が高い海外事業・版權事業の売上比率が大幅に上昇したため、改善

販管費

- 販管費[+788]
 - ①人件費[+177] (前期:1,552 当期:1,729)
 - ②租税公課[+170] (前期:273 当期:443)
 - ③減価償却費[+114] (前期:140 当期:255)

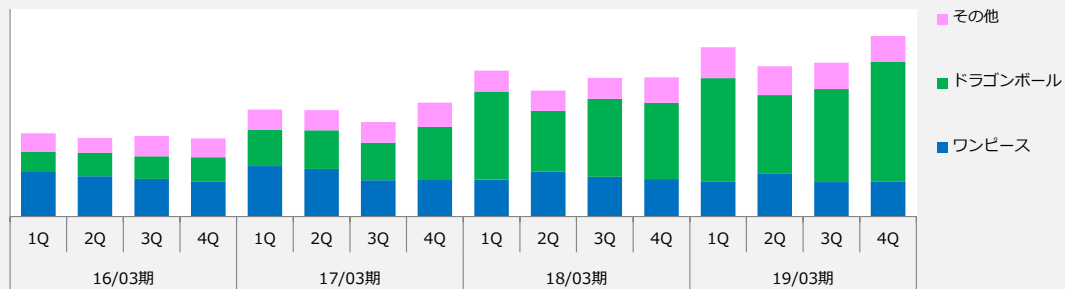
特別損益

- 特別利益[29]:投資有価証券売却益
- 特別損失[197]:保有株式の減損等

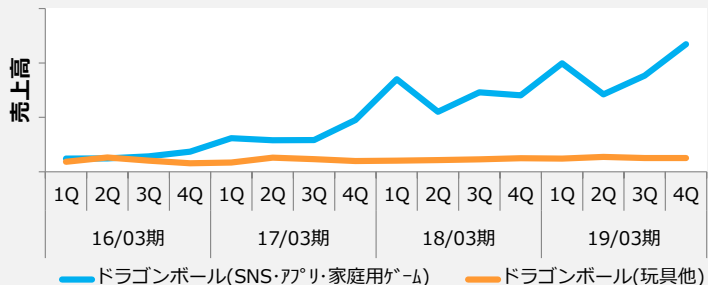
主要作品の国内版權事業の状況

- 「ドラゴンボール」のアプリゲームは前期同期より更に好調に稼動
- 「ワンピース」のアプリゲームは前年同期実績割れ
- 「ドラゴンボール」の比重拡大、アプリゲーム化権への依存が拡大

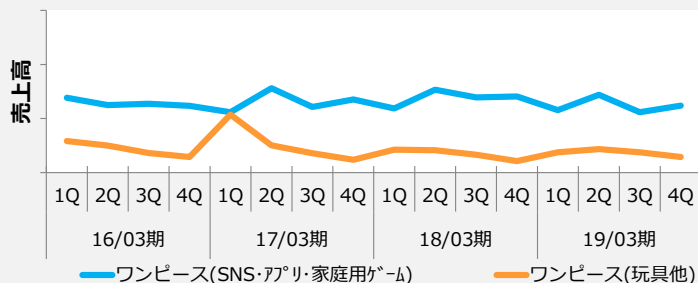
国内版權売上高の推移



ドラゴンボール国内版權売上高の推移



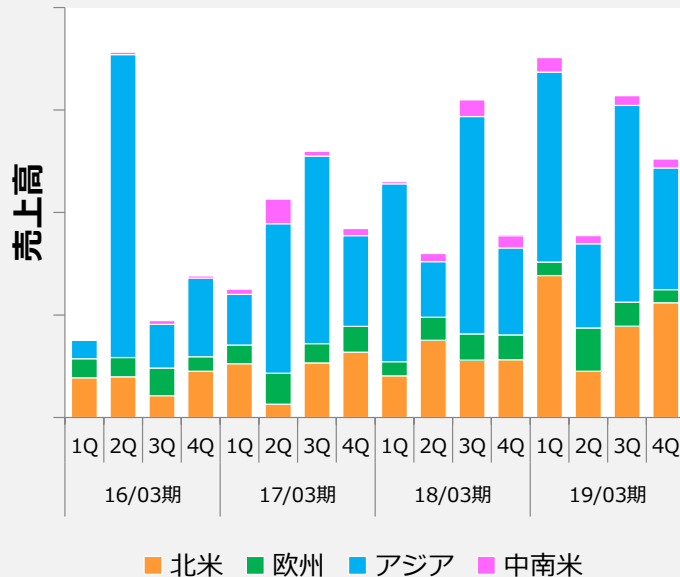
ワンピース 国内版權売上高の推移



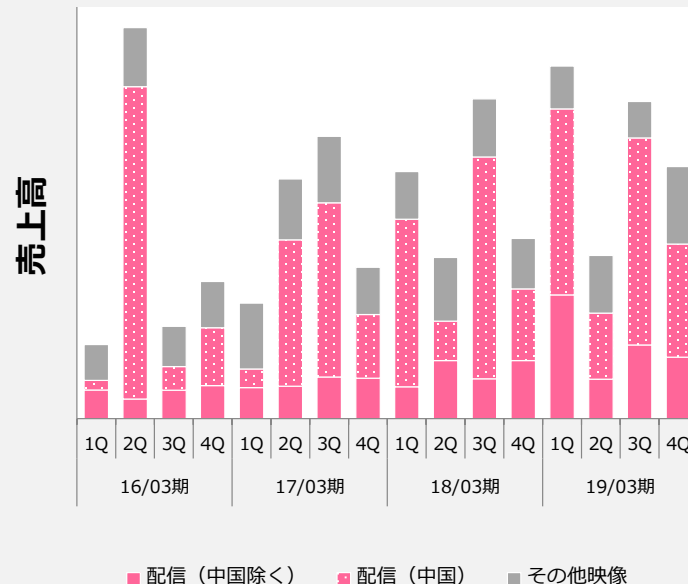
海外映像事業の状況

- 中国向け大口映像配信権は毎週放映の新作話数追加等により、販売本数が増加
- 北米向け映像配信権販売は、「ドラゴンボール」の視聴回数が好調に推移
- 北米の一部配信業者と複数年契約を締結

海外映像 売上高の推移



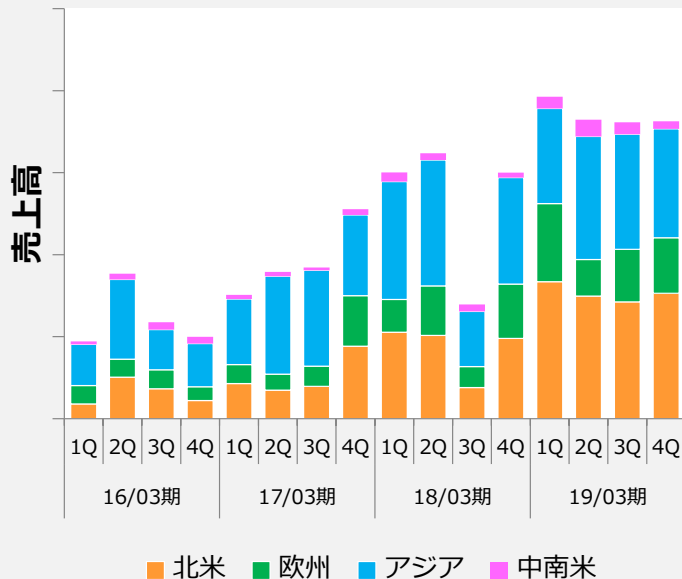
事業内訳



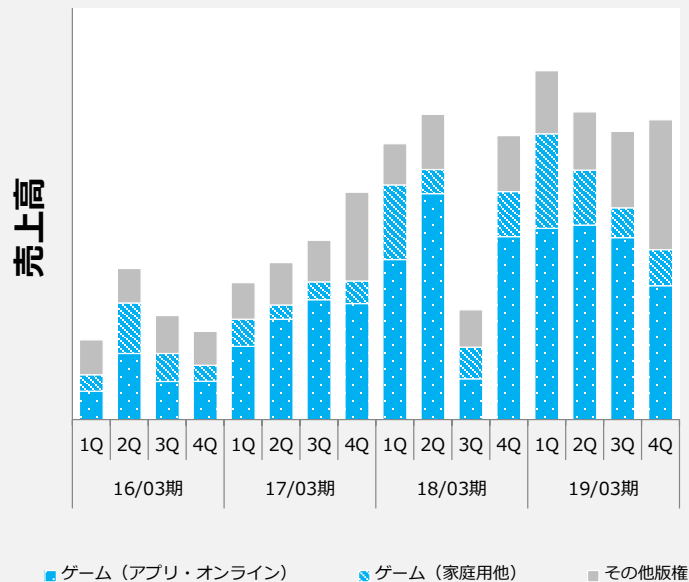
海外版権事業の状況

- 欧米で「ドラゴンボール」のアプリゲーム化権や商品化権の販売が好調
- 北米で家庭用ゲーム『ドラゴンボール ファイターズ』の販売も好調に推移
- 中国向けアプリゲームのMGを複数計上

海外版権 売上高の推移



事業内訳



2020年3月期 業績予想(連結)

	19年3月期実績	20年3月期予想	増減率	(ご参考) 19年3月期 期初予想
売上高	55,701	46,200	△17.1%	40,000
販管費	7,097	7,400	4.3%	7,000
営業利益	15,741	12,000	△23.8%	9,000
経常利益	16,265	12,300	△24.4%	9,300
当期純利益	11,375	8,500	△25.3%	6,300

【2020年3月期 業績予想の根拠】

- アプリゲーム化権は、外部メーカーの予想を織り込み、減収予想
- ワンピース映画効果があるものの、遊技機の大口契約反動減の影響大
- 販管費は、新規プロジェクト推進費用等で増加

2020年3月期 セグメント別予想

	19/03 実績	20/03 予想
売上全体	55,701	46,200
映像製作・販売事業	19,531	19,600
劇場アニメ	1,758	2,300
テレビアニメ	2,888	2,200
コンテンツ	660	400
海外映像	10,934	11,600
その他	3,289	3,100
著作権事業	30,210	21,450
国内著作権	16,547	11,350
海外著作権	13,662	10,100
商品販売事業	5,166	4,500
その他事業	970	650

映像製作・販売事業 (▲ 前期比0.4%増)

- ・「劇場アニメ」は、劇場版「ONE PIECE STAMPEDE」公開のため大幅増収の見込み
- ・「テレビアニメ」は、放映本数の減少から大幅減収を予想
- ・「コンテンツ」は、市場縮小に伴い大幅な減収を予想
- ・「海外映像」は、引き続き中国向け大口配信権販売が好調を維持することや、サウジアラビアとの合作アニメーションの納品があることから増収見込み
- ・「その他」は、国内向け配信権の既存タイトル販売の減少により減収見込み

著作権事業 (▼ 前期比29.0%減)

- ・「国内著作権」は、アプリゲームの先行き不透明感や前期にあった遊技機向けの大口契約の反動減等により大幅減収の見込み
- ・「海外著作権」は、前期にあった中国向けアプリゲームのMGの反動減や既存アプリゲームの先行き不透明感から、大幅な減収を予想

商品販売事業 (▼ 前期比12.9%減)

- ・劇場版「ONE PIECE STAMPEDE」の公開に合わせたタイアップ・キャンペーンがあるものの、全体としては大幅な減収見込み

その他事業 (▼ 前期比33.0%減)

- ・前期にあった「ドラゴンボール」の催事の反動減で大幅な減収を予想

展開スケジュール

展開スケジュール

映像製作・販売事業 著作権事業

商品販売事業 その他事業

19/03期
4Q

映画「ドラゴンボール超 ブロリー」北米公開 [1/16]

中国向けアプリゲーム「龙珠Z 覚醒」リリース [2/26]

「映画プリキュアミラクルユニバース」公開 [3/16]

「東映まんがまつり」公開 [4/26]

20/03期
1Q

映画「ドラゴンボール超 ブロリー」中国公開予定 [5/24]

全世界向け「聖闘士星矢: Knights of the Zodiac」Netflixにて配信予定 [7/19]

劇場版「ONE PIECE STAMPEDE」公開予定 [8/9]

全世界向け家庭用ゲーム「ドラゴンボールゲームプロジェクトZ」発売予定 [2019年]

20/03期
2Q以降

中国向けアプリゲーム「龙珠最強之戦」リリース予定 [2019年]

「劇場版デジモンアドベンチャー(仮題)」公開予定 [2020年初春]

「魔女見習いをさがして」公開予定 [2020年]

国際合作アニメーション映画「The Monkey Prince (仮)」公開予定 [時期未定]

アプリゲーム「ワンピース ホン!ホン!ジャーニー!!」リリース予定 [時期未定]

中国向けアプリゲーム「スラムダンク」「Dr.スランプ アラレちゃん」リリース予定 [時期未定]

中国向けPCゲーム「龙珠 時空伝説」リリース予定 [時期未定]

トピック

ドラゴンボール展開

- 映画「ドラゴンボール超 ブロリー」
 - 全世界興行収入130億円突破
 - 2019年5月24日中国公開予定
- 中国向けアプリゲーム「龙珠Z 覚醒」
 - 2019年2月配信開始
 - App Store無料ゲームDLランキングで首位を獲得
- ゲームリリース予定
 - 中国向けアプリゲーム「龙珠 最強之戦」
 - 中国向けPCゲーム「龙珠 時空伝説」
 - 家庭用ゲーム「ドラゴンボールゲームプロジェクトZ」

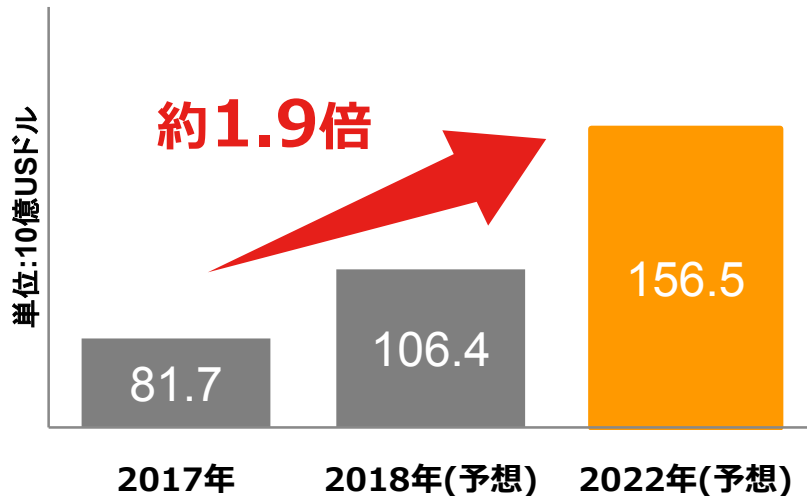
新作展開

- 劇場版「ONE PIECE STAMPEDE」
2019年8月9日(金)公開予定
- 映画「魔女見習いをさがして」
おジャ魔女どれみ20周年企画 2020年公開予定
- 「劇場版デジモンアドベンチャー(仮題)」
2020年初春公開予定
- 映画「The Monkey Prince (仮)」
本格的な国際合作アニメーションの製作が決定

中長期の成長に向けた取り組み

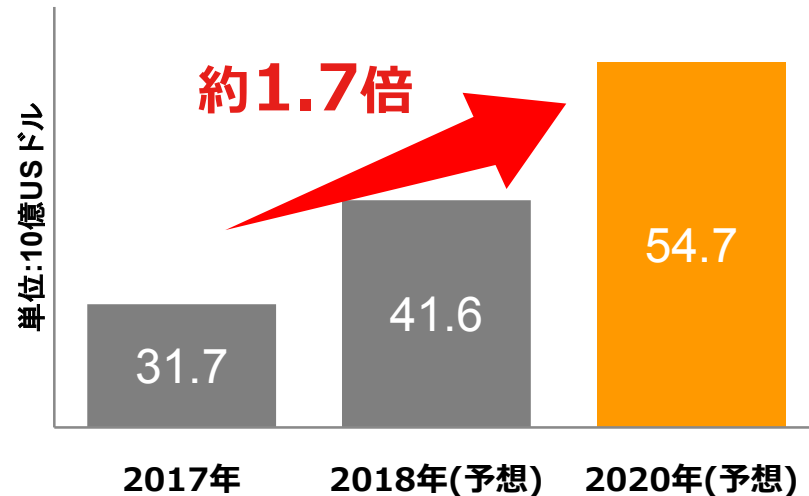
コンテンツのデジタル化が当社への追い風に

世界のアプリ消費支出



出典:App Annie「アプリ市場予測2017-2022」

世界の配信市場

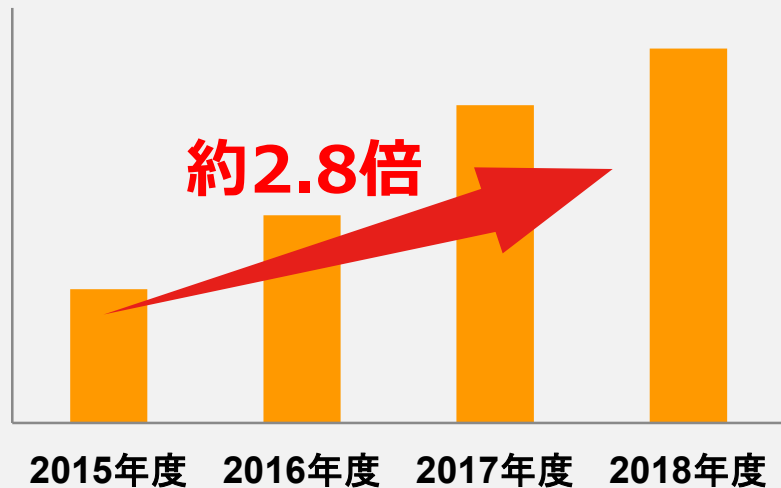


出典:平成30年度情報通信白書

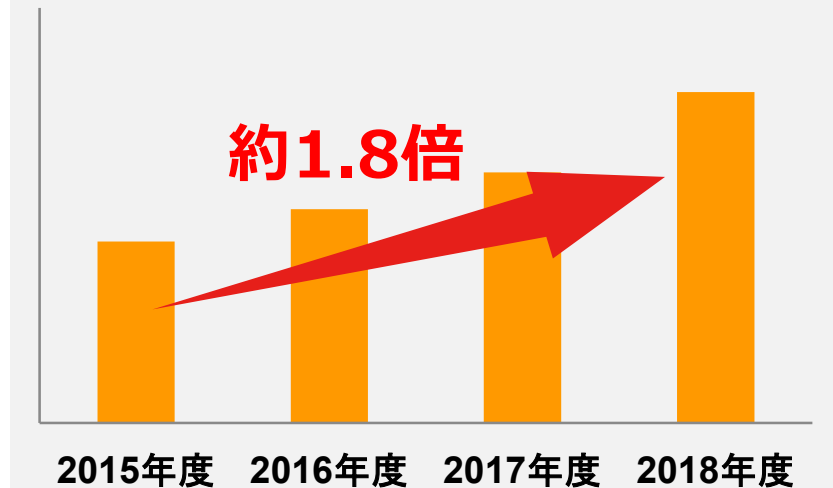
中長期の成長に向けた取り組み

コンテンツのデジタル化が当社への追い風に

当社の全世界アプリゲーム化権販売



当社の全世界配信権販売

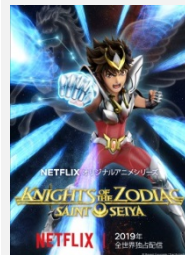


コンテンツの人気があってこそその追い風

中長期の成長に向けた取り組み

更なる成長のための二軸でのコンテンツ開発

新作・ 新ビジネス への挑戦



「聖闘士星矢:
Knights of the Zodiac」
Netflixオリジナルシリーズとして
2019年7月19日より
全世界で配信開始予定



「The Monkey Prince(仮)」
日中米共同合作作品
グローバル市場を見据えた
ファミリー向けアニメーション

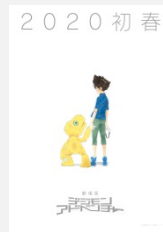
- ・ 社内の若手社員による
新規企画・ビジネス
開発プロジェクト始動
- ・ 制作スタジオへの出資等、
外部クリエイターとの連携強化

グローバルでの作品展開・新たなヒット作創出への挑戦

既存 コンテンツの 活性化



「魔女見習いをさがして」
おジャ魔女どれみ
20周年プロジェクト
2020年公開予定



「劇場版デジモン
アドベンチャー(仮題)」
2020年初春
劇場公開予定

- ・ 中国向けアプリゲーム「スラムダンク」
「Dr.スランプ アラレちゃん」リリース予定
- ・ 「一休さん」NTT Docomo CM起用
- ・ 「Dr.スランプ アラレちゃん」
JR東日本キャンペーン起用

すでに知名度が高い作品での収益化

配当について

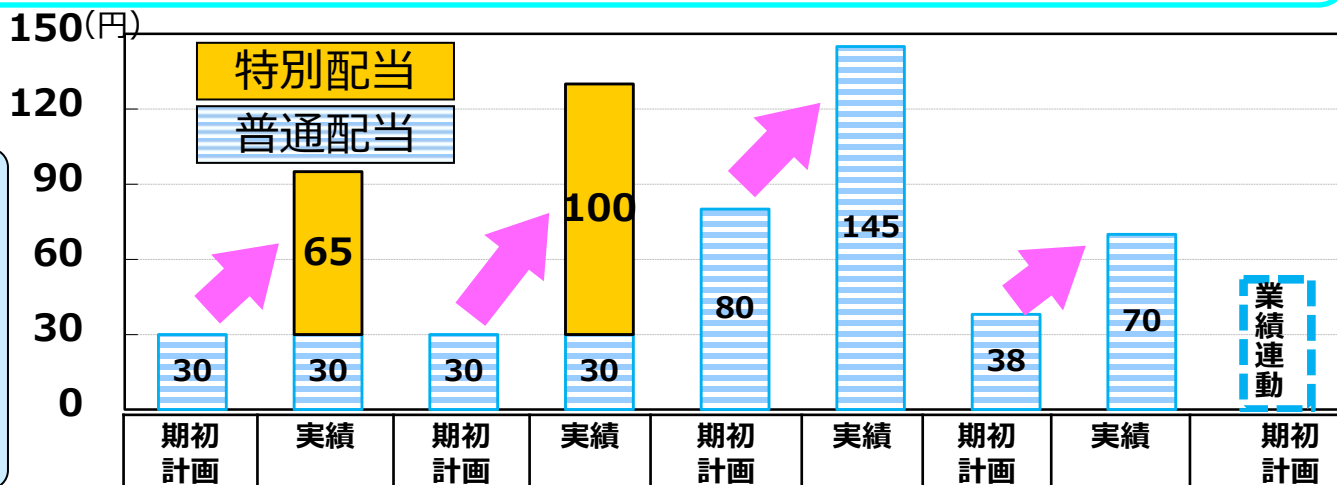
期末配当

2019年3月期 1株あたり 70円

2020年3月期 1株あたり 連結業績に応じ配当性向25%程度

基本方針

継続的且つ安定的な配当の実施を基本に、中長期的な事業計画に基づく積極的な事業展開のための内部資金の確保や業績などを総合的に勘案して決定しています。連結業績に応じて配当性向25%程度を基本といたします。



年度	16/03	17/03	18/03	19/03	20/03
※1株当たり配当金	95(31.7)円	130(43.3)円	145(48.3)円	70円	52円(予)
配当性向	25.2%	24.6%	25.2%	25.2%	25% (予)

※当社は2018年4月1日付で株式分割をしております。18年3月期以前の配当金額は、実際の配当金額と()内に各期首に株式分割をしたと仮定して計算した配当金額、19年3月期は株式分割の影響を考慮した配当金を記載しております。

ご参考①(放映中作品)



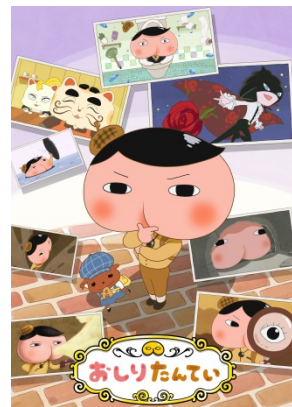
日曜あさ8:30～ ABCテレビ・テレビ朝日系列



日曜あさ9:00～ フジテレビほか



日曜あさ9:30～ フジテレビほか



土曜日あさ9:00～ NHK Eテレ

ご参考②(今後の展開予定作品)



「聖闘士星矢: Knights of the Zodiac」
Netflixにて2019年7月19日(金)配信予定



『劇場版デジモンアドベンチャー(仮題)』
2020年初春公開予定



劇場版『ONE PIECE STAMPEDE』
2019年8月9日(金)公開予定



『魔女見習いをさがして』
2020年公開予定



TOEI ANIMATION

Since 1956

【見通しに関する注意事項】

**当資料に記載されている内容は、現在入手している
情報に基づく判断および仮定に基づいており、
記載された将来の計画数値、戦略、施策の実現を
確約したり、保証するものではありません。**